

榎谷議員 おはようございます。4点について通告しておりました質問をさせていただきますが、その前に訂正をお願いいたします。2点目の後ろに下から2番目の見解とありますが、見聞となっておりますので、解くという字に変えておいてください。それでは、質問させていただきます。まず1点目、耐震補強工事に伴う小中一貫校建設について質問させていただきます。牟岐小学校南校舎の耐震強化事業の一端として、子ども達より大きな安全と安心をとる取り組みの結果、津波には弱い小学校を中学校隣接するようになり、ついでには、やはり耐震に問題のある西保育所、さらに東保育所全ての子ども達の教育の場として市宇ヶ丘に集まったという訳ですが、その結果、全国にも先駆け幼小中一貫の教育の場が出来上がることとなったのですが、市宇谷には既に事後の計画としてタンク貯水地も埋められており、南海、東南海の避難場所としても発揮できるようにされていますが、災害時には校舎をどのように避難場所として使う予定なのか、備蓄品などはどうなのか、また、新しく着工される校舎の耐震強化は、どれぐらいを想定して工事に着工するのか、さらに、町民を含めての防災訓練並びに中学校の耐震補強工事、新しく建築される小学校、さらに、保育所、給食センター等の各々の箇所への指令本部との連携は、どのように想定しているのか、お聞きいたします。2点目に暑さ対策を新設する小学校、保育所に、牟岐町の財源の大きな血税を費やし、建築される校舎について質問させていただきます。先月にも二例の学校の視察研修に行き、それぞれの小中一貫校の取り組みについて、各校とも大きな課題を抱えての船出であったように思いますが、意義深い収穫を得てまいりました。各々の学校に牟岐町との共通点を探りながら学校を見聞きさせていただき、各校の説明、校舎見学を受ける折り、夏休みということもあり、締め切った校舎内を見学させていただきました際、姫路での見学で、ここからの景色は絶景ですよと案内してくれましたが、なるほど、廊下窓から姫路城が見え、桜の満開の季節には素晴らしい景色を校舎内より堪能できることと思いましたが、暑さで息苦しさを覚えました。牟岐町としては、中学校、小学校、そして、保育所と一貫と言えども、各々の校舎を持つことについては、類似して言えるのではないかと思います。百十三年で最高と言われた今年の暑さ、温暖化の影響で1.64度、つまり一度以上緯度が上がるという推定です。この温暖化は益々酷くなるとの予想をしていますが、来年も今年をしのぐ暑さになるだろうと予測できます。そこで海と山との違いはあれども牟岐町とよく似た町、とどろみの森の学園、自分発見、人発見、未来発見という過疎化、高齢化、地域の活性化と人口五千人から九千六百人の試み、着実に増えている傾向にある箕面市の取り組み、このままだと児童減少により閉校になるという想定から校舎を開

拓、建設により将来の児童生徒の増加に対応するための用地も確保するという人気の学園となりました。校舎内は今までにない個室の教室な壁を追っ払った斬新な教室、そのせいか、あまり暑く感じられなかったと思います。当初考えていたフリーの教室の隣りとの騒音も壁ひとつ仕切るより遙かに少なかったということも新たな発見でした。何よりもクーラー設備の無い子ども達の教室に校舎の造り、教室の造りにこのような暑さ対策ができるのならば、これよりさらに酷くなるであろう地球温暖化対策として、こんなところまで考える必要があるのではないかと思います。それとも空調設備などは設置の検討をしているのでしょうか。いないのであれば、是非、建設構造での空気の流れを考えるべきだと思います。緯度が一度上がるということは、大変なことになります。これから建設する校舎には、暑さ対策も校舎建設には必要不可欠ではないかと思います。教員の意見も大切、保護者の意見もしかり、だが、子ども達のためにを第一に考え、これから益々子ども達の人数も減ってきます。そのことにも対応できる、とどろみの森学園の構造を取り入れるところは大いに取り入れるべきと考えます。財源さえあればと答える人が多いですが、牟岐町の殆どの財源を費やす計画、後で悔いの無い建設計画を切磋琢磨し、後悔のより少ない子ども達の教育の場を作りあげなければならないと思います。わくわく体験、のびのび失敗、どんどん挑戦とのとどろみの森学園キャッチフレーズのように、どんどん挑戦して今までの課程にとらわれず、あらゆる知恵や企画を出し合っ
て欲しいと思いますが、教育長並びに町長の見解をお聞きいたします。次に3点目であり
ます、公営住宅の空きスペースの確認をに移らせていただきます。借り主が死亡にも係
わらず長年放置されていた過去の経過を踏まえ、現在の公営住宅留守件数は幾らある
のか、つまり生活状況が無いにも関わらず、放置されている公営住宅、そのような公
営住宅は何軒あるのか、また、現在家賃は納入されているのか、また、住まわれている
中でも家賃滞納者はいるのか、その理由はなんなのか、お聞きいたします。先月の
空き住宅公募にも沢山の住宅に困っている方々が公募の申込みをされましたが、
残念ながら多くの方々が入るころができませんでした。荷物が置いたままの住宅や既
に住んでいない公営住宅の整理をこの際すべきと思いますが、答弁をお聞きいた
します。任期満了を迎えて町長の再出馬は来年4月任期満了を迎える町長の出馬の
意思をお伺いいたします。首長として続投するのか、本会議でお答え下さい。併
せて鉢植えマンゴーの今後の進捗状況をお聞きいたします。昨年、9個のマン
ゴーが生ったそうで、甘みも良かったということですが、助成金併せて2,000
千円の経費をかけ、取り組んでいる訳ですが、今度は出羽島に借地し、ハウスを
造るとのことですが、借地となれば永遠に経費が掛か

り人件費など諸経費を含め、町として投資した金額、また、それ以上に企業として成り立っていくのか、将来負担していくコスト負担はどれぐらいになるのか、お伺いいたします。以上、4点について答弁をお伺いいたします。

議長 大神町長。

町長 榎谷議員から大きく分けて4つの項目のご質疑をいただいております。まず、第1点の耐震補強工事に伴う小中一貫校建設についての項目です。これは、耐震補強工事、これは、現在の牟岐町の地域防災計画において、または津波避難場所として指定されている場所でございます。当然、新しい小学校、或いは保育所が完成いたしますと、第一次津波避難場所として指定されなければいけないし、する予定でございます。勿論、建設の設計の中には、これは規定がございます。特に阪神淡路震災後、或いは、または姉齒事件以後、法的な施設に対する規制、制限というのが括られております。だから、震度6強ですか、弱ですか、中学校、小学校もそうですけども、それに対応できるような設計が義務付けられておりますので、これからの問題ですけれども、それは私どもが言うよりも専門家の方で厳しい規定があるかと思えます。中学校の市宇ヶ丘ですけれども、これは群馬大学の片田先生のシミュレーションにもありましたように、7mというふうな南海、東南海の津波の襲来を考えまして、これは後ほど担当の方から詳しくあるかと思えますけれども、第二次避難場所としては、というのは、本庁舎が実は耐震化の凄く微弱というか、薄いところです。昭和50年以前の建設でございますので、そういうふうなこの地域の避難場所には、ここの2階になっておりますけれども、その震度によりまして危険であるというふうなことも言われております。ここには災害本部を設置する。或いは、放送施設もありますので、当然、災害対策本部というふうなことになるかと思えますけれども、港に近い、或いは、波の状況によりますと、とてもそういうふうな状況を考えなければ、当然、市宇ヶ丘、中学校の新しい小学校、保育所もですけれども、使用するように位置づけております。また、津波の被害にもよりますけれども使用方法としましては、被災後の町民の借り住宅であるとか、或いは、支援部隊の受け入れであるとか、また、支援物資の受け入れ、災害対策用のヘリポート、これは、まぜの丘が南部の対策地域になっておりまして、何回も先日も9月1日に大規模な訓練、昨日は阿南でやったようすけれども、そういうふうな道路の閉鎖状況とかから勘案しまして、当然、中学校、市宇ヶ丘の建物が避難場所になるかと思えます。しかしなが

ら、長期間に亘って教室を住居に使うとかいうふうなことは、学校教育との関係がありますので、それは色々考えて対応しなければならないと思っております。そういうふうな現状であるということ踏まえて、あそこへ移転する訳でございます。子ども達の安全、安心というふうなことで、大規模な費用を使って移転する訳でございますので、当然、耐震補強工事についての配慮も十分なされなければならないと思っております。それから、今年の暑さは異常でありまして、学校の冷房化と言いますか、そういうようなことへの配慮はどんなものかというふうなことのお尋ねであります。担当者から詳しく例を挙げられると思いますけれども、徳島県では板野町が小学校も一部冷房をしたようですが、随分費用が掛かって、それに担当者の町当局は、板野町でさえもというふうなことで、色々町政を圧迫したというふうな話を雑談で聞きました。松茂町は、全校舎、小中、空港の関係がありまして、騒音対策とリンクして、いわゆる冷暖房というふうなことで、これは、国費でやっておるようです。その他は小中一般の生徒の教室は、現在冷房というのは、今は見られないようです。できればその内に来年がどんな暑さか、或いは、夏の暑さに対する子どものことを考えれば、この前の箕面では、職員室と一部教室というふうなこと、或いは、また、白鷺小中も工作室でしたか、私も途中であまりにも暑くて気分が悪くなったので、あとの何は冷房のある部屋に行ってしまったのですが、当日は随分暑かったし、湿気が多かったということで、今後の対策としては、膨大な費用も掛かりますので、建築費の関係もございまして、冷房設備を備えるまでにはいきませんが、もし備えるならば電源なんかの電気施設の容量ですか、もし備えてもいけるようなというようなこと、全教室、先ほどもご指摘がありましたが、オープン教室というようなことも現場では、色々議論なされておるようでございますけれども、議会の皆さんは、2日掛けて現場したので随分興味と言いますか、関心をお持ちかと思っておりますけれども、折角ですので理想的な、或いは、子どもの安心、安全、或いは、健康、学力、そういうふうな面では画期的な計画で推進できたらと思っております。従って、暑さ対策への冷房施設ということにつきましては、私の考えはそういうところでございます。あと3点目は担当者から答弁させますが、4点目の任期満了に対する町長のというふうな、来年4月の町長、任期満了の次期町長戦への出馬の決意はあるのかという質疑をいただきました。3年前にこの責任ある立場に立ちまして微力ながら一心不乱に努めてまいりました。改めて月日の流れの早さを感じる次第でございますが、ちょっと理屈を言わせていただきますと、大事を成すためには5つの力が必要と申されております。順序は別として、気力、体力、能力、努力、協力と、これは誰の言葉かちょっと私も失礼い

たしておりますけども、5つの力が必要であると。幸い議会議員の皆さん方のご協力を得まして、私なりに大過なく過ごしてまいったと思っております。能力、努力はともかくとして、まず何度も申し上げますように小中一貫教育、統合の施設という、これへの意欲は私なりに自任いたしております。さて来年の4月でございますけども、まだ時期があるので、私も決意はしなければならないかと思っておりますけども、今のところ今日のお答えとしては、誠心誠意職務に専念するといいたしたいというところで意思の表示といえますか、ご勘弁いただきたいと思っております。そう遠くない時期には意思表示いたしたいと思っております。ご賢察のほどお願いいたしたいと思っております。あと残余の点につきましては、あとマンゴーにつきまして、失礼いたしました。一昨年から近大から3鉢の鉢植えマンゴーを譲っていただきまして、内妻の篤志家に体験栽培を試験栽培をお願いしてご存知のように去年は9つ、今年はちょっと風の関係で3つ、4つでしたか、マンゴーはうるし化のマンゴー族という、元々はミャンマーとインドの国境に自然生えにして、樹高は20から30mというのが自然生えですけれども、生育過程としましては、20度から30度というのが自然生えです。品種は全部挙げますと9種類ほどあるようです。一般的に宮崎、沖縄でアーウィンという品種、これは太陽のタマゴというふうなネーミングで随分騒がれました。その他、ダボザとかトロベットとかリベンズとかケント、ケンジントンとかいう9つの品種があるようでございます。先程の話にもありましたように高温化によりまして、熊谷が埼玉県ですが、熊谷が全国の気温で最高でしたから、マンゴーを売り出そうということとか、或いは、宮崎では随分力を入れて全国的に発送したりしております。さて近大が水産学部のマグロ、クエの試験養殖に対抗して、では農学部もということで、湯浅でマンゴーの栽培、アーウィンと、それを近大開発の愛紅と、愛の紅というネーミングですが、それを今、意欲的にやっております。それを出羽島でどうかというふうなご存知の相談がありました。一昨年、アーウィン2株、それから、鉢植えでだいたい背の高さぐらいの2mぐらいの何ですけど、幹3本が出まして、それに1つずつしか生らさないのです。花が沢山つくのですが、それを全部撤去してしまう訳です。今年は、あれは温度管理は良かったのですが、風の対策でビニールが捲れてしまいまして、愛紅がちょっと傷みました。アーウィンは実をつけまして、実はアーウィンの格好は良いのですが、今、冷蔵庫に置いております。持って来て見ていただいたら良かったのですが、格好は良いのですが、ちょっとまだ青いのです。完熟までいかない訳です。というのは、袋で吊る訳ですが、それが滑って地面に落ちてしまったのが現実です。温度管理よりも風の対策も大変かと思っております。出羽島の部落長のご尽力もありま

して、小学校の前を通過して、あれはスパナですか、行く右側の個人の前庭を借りまして、5 mと5 m 5 0 というふうなハウスを今、その何は頑張る町村の県の助成金というような、一応、今年は2,000千円でハウスを建てるというふうな予定であります。アーウィンの最低温度が10度です。愛紅が5度なのです。色々調べておきますと、結局寒い時の加温の灯油使用の期間が長いとそれだけ負担が掛かりますので、愛紅ですと5度です。霜のない出羽だったら、統計的なことは別として風対策にすれば十分いけるのではないかというふうなこと。ハウスができましたら、今のところ5 mと5 m 5 0 ですので、10本ないし15本申し入れております。これはハウスができてからの話です。そういうふうなことで、実は海陽町辺りに空きハウスがあるから、こっちで預かるから、管理するからというふうな話も随分あるのですが、向うに行きますと、海陽町のとか久尾のとかいう話しになってしまうので、やっぱり出羽島のマンゴーというようなことで出来たらと思います。来年ぐらいの夏には、昨年度ぐらいの風対策を十分すれば温度は十分いけるとお思いますので、楽しみに夢の一つとして考えております。まだまだこの後、頑張る町村の何で県から説明に来たいというふうな話があって、時間の何を予約するように連絡がありました。先ほど、そういうふうなことで、議会の皆さんにも或いは、また、ご協力、ご支援をお願いし、夢の花咲く時期を迎えれば良いのにとお思います。以上、また、残余の答弁につきましては担当課長からさせていただきますのでよろしく。以上です。

議長 高島教育次長。

高島教育次長 おはようございます。榎谷議員さんの耐震補強工事の小中一貫建設についての2番目の中学校の耐震化を含め新しく着工される小学校、保育所、給食センターの耐震化は、というお答えをさせていただきます。今、中学校、耐震化補強工事を進めております。7割程度進捗いたしまして順調に工事が進んでいることを先にご報告をさせていただきますと思います。耐震の補強でございますが、国の示されました官公庁施設の総合耐震計画基準というのが示されておりまして、中学校の耐震補強に関しましては、大地震と中地震がございますが、大地震は数百年に1度やってくるかやってこないかというような地震で、震度は6強と示されております。それに十分耐え得る耐震補強工事を現在牟岐の中学校の工事をやっております。この震度6強に耐え得る地震の構造体の構造とは、もし震度6強の大地震がやってきたならば、部分的な損傷は生じるもの

のヒビとか割れは生じますが倒壊等の大きな損傷は生じないということを目的とした震度6強に耐え得る構造体に耐震補強をしております。また、大地震の規模については、耐震診断の構造耐震判定指標、これは気象庁との震度とは直接関係付けられておりませんが、色々な見地から大地震は大よそ震度6強程度とされております。牟岐町で想定されております地震の規模は、30年後に60%から50%の確立でやってくると言われております、南海、東南海地震でございますが、震度6強というようなことが言われておりますので、耐震設計、中学校は6強で設計をしております。それで牟岐中学校の建物を島谷建設さんがやっておられますが、文部科学省の補助条件といたしましては、構造耐震判定指標、ISOと言うのですが、0.7以上を設計目標としており、一般的には構造耐震判定指標が0.6であることから、中学校の耐震補強強度に関しては、十二分に大地震に耐え得る構造で中学校の耐震補強工事をしておりますので、報告をさせていただきたいと思っております。それと新しく着工する統合小学校、保育所、給食センターの耐震化でございますが、新築建物設計については、国の基準で建物の目的に合わせた耐震安全性が示されております。その時の想定震度は、度々申し上げておりますが、震度6強で設計を行っております。これから建設されます保育所、合わせて給食センター、6強の震度でも大丈夫という設計基準で設計しております。先ほど新しく建てられます統合小学校も避難所として位置付けられると町長の方から報告がありましたが、今現在、基本設計では耐震の安全性の目標といたしましては、3段階に分けてやっております。1つは構造体、これは本体の形でございますが、木造、コンクリート、鉄筋、また、鉄筋コンクリートと、それと2番目には建築非構造部材、これは天井とか壁、床等の構造でございます。それと建築設備でございます。これは電気、水道、トイレ等でございます。この避難所として位置付けられる施設にするには、今、構造体、建築非構造部材はクリアしております。1つクリアしていないのが建築設備でございます。水道とか電気です。皆さん方がもし災害の時に避難して来た時には、水道、電気、トイレ等の設備が甲乙とありますが、今、基本設計では乙で設計をしておりますが、これを実施設計のこれから実施設計をする訳でございますが、実施設計の時に乙から甲に1段階繰り上げて避難所としての施設とするように持って行きたいと思っておりますので、その辺りご了解をいただきたいと思っております。引き続きまして、暑さ対策を小中一貫校にということでございますが、町長の方からも答弁がございましたが、2例研修ですね、箕面市のとどろみの小学校、また姫路市の白鷺小中一貫校を先進地視察をしてきた訳でございますが、皆さん方と行って非常に良かった、良い研修だったかと思っております。これを冷房で

すね、色々、非常に暑かったのですが、このとどろみの小学校は、特別教室、音楽室とか美術室、保健室はもちろん冷房は、職員室もございましたが、各小学校の個別の教室には冷房設備はしていないというような説明がございました。ここも統合小学校、牟岐小学校を建てようとするオープンスペースですね、仕切りが無いというようなオープンスペースでございます。それと大きな吹き抜けがございました。そのようなことで非常に冷房をするとすると、非常に維持管理がいるのではないかと、電気代とか色々なものに設備等に関しまして膨大な費用が要るのではないかとということで、町長の方からも将来的に設置をする方向としてというような答弁があったかと思いますが、この実施設計に向けましては、電気設備の容量を大きくしたり、また、オープンスペースとの整合性でございますが、実施設計におきまして間仕切りをするのか、しないのか、そのようなことも実施設計、皆さん方の議員さん方の意見、また、保護者、また、先生方の意見も踏まえまして実施設計に向けまして、そのような将来的に冷暖房設備をする方向として配管設備とか色々なものを実施設計の段階でしていきたいと考えておりますので、良い案がございましたら色々教えていただければ、その協議をしまして、安全な立派な牟岐統合小学校を建設したいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたしたいと思っております。以上です。

議長 先の方で出てきておりますので、保育所長、ありますか。良いですか。はい、教育長。

丸岡教育長 榎谷議員の第1番目、第2番目のご質問、大変この専門的な内容でございまして、耐震とか震度とか耐震強度、ほんとに建設していく上で大変難しい内容でございましたので、専門的な立場におります教育委員会の次長の方から説明をしていただいた訳でございます。私は特にこの暑さ対策を小中一貫教育にと、そういう榎谷議員の質問がありましたので、それについての見解と言うのでしょうか、その辺りについて私の考えを述べてみたいと思っております。今年の夏は確かに暑かったのではないかと考えております。暑いですねという、そういう言葉が連日発せられるようになりまして、その言葉が挨拶代わりになったような気もいたします。夏の暑さ対策を新校舎にも取り入れてはどうかという提言を先ほどいただいた訳でございますが、7月の28日、そして9月16日に行われました全員協議会の時に基本設計を見ていただいたと思っております。新校舎の造りにつきましては、1つ目は1、2階の廊下が中学校の校舎に向って延びてお

ります。障害物もなくかなり風通しの良い造りになっていたのでないかと、そのように思っております。また、中学校の校舎に向いまして南西に長く延びております新校舎の1、2階につきましても障害物を置いたりしない限り風のある時は空気の流れがあるように設計されております。これらは大きな暑さ対策の1つと言えるのではないかと私は思っております。それから2つ目につきましては、1階から2階への吹き抜けでございます。校舎の造りの中に大きな吹き抜けがあります。その吹き抜けを設けることで1階にいる子ども達への圧迫感の解消にも繋がりますし、それだけではございません。温められました空気が上昇し、気温の低い空気がそこに周辺から移動してくると、そんな役割になっているのが1階から2階への吹き抜け構造でございます。新しい校舎建設には、こうした暑さ対策を取り込んであるということもお気付きいただいたら大変あり難いと思います。次に他にも暑さ対策があるのではないかと、新校舎には空調設備をしてはどうかというご提言もございました。私はこのことについて色々考えてみているのですが、本格的な夏になる梅雨明けの頃でございます。時期といたしましては、例年7月10日から7月15日ぐらいが例年梅雨明けの頃でございます。この梅雨を明けたら本格的に暑くなってくる。しかし、1週間もしないうちに子ども達は夏休みに入っていく訳なのです。夏休みが終了いたします。そして2学期が始まる。9月に入りますと、残暑も大変厳しい訳でございますが、運動会に向けての練習が日々繰り返されている。しかも炎天下の下で汗を一杯かきながらの練習でございます。校舎の陰や樹木の陰に入るだけで子ども達にとって、或いは、教師にとっても涼しさが感じられるのではないかと思っております。そこでもう1つ私は考えていただきたいのは、子どもの活動は大人が考えている以上によく動きます。よく子ども達を観察しておりますと、殆ど歩きません。歩いたりせず、至近距離の移動でも子どもは走ります。走って走って事を成そうとすることです。ここが子どもと大人と決定的な違いかといつも私は思います。汗を一杯かくことで、子ども達は体温調整をしているのです。そんな汗を一杯かいております子ども達がクーラーの効いた部屋に入って、じっと授業を受ける。初めは大変気持が良いのですが、そのうち風邪を引いたり体調を崩したりする子どもが出てくるので、殆どクーラーは設置されているのですが、使っておりません。そういうような話を設置しております学校の職員からも聞いておるのです。学校において絶えず動き回り、一杯汗をかく子ども達にクーラーは今のところまだ必要でないとは私は考えております。しかし、櫻谷議員が指摘しておりましたように牟岐町におきましても今後温暖化がさらに進み連日猛暑日35度以上でございますが、これが何十日も続くような事態が起こらないと

も限りません。そういうことも想定いたしまして、新しい校舎の設計には、エアコンが設置できるような電気回路を全ての教室に造っておく必要があると、そのように考えております。そういうことも設計の方に依頼してございます。以上が私の見解でございます。

議長 岩田住民福祉課長。

岩田住民福祉課長 榎谷議員の質問にお答えしたいと思います。3点目の公営住宅の空きスペースの確認をというところでございますが、現在、公営住宅の管理戸数につきましては、9団地101戸ございますが、その内4戸につきましては、奥前住宅で、この団地につきましては風呂もなく、かなり老朽化が進んでおりますので、今後においても入居させる計画は今現在ございません。従いまして、101戸から4戸を差し引いた管理戸数につきましては、現在97戸になっております。この97戸の管理戸数の中に死亡や転居等によります生活実態のない空き家、この空き家につきましては、今現在6件ございます。この6件につきましては、多少未納という形はございますが、その出て行った入居者からの約束で今年度中に納入するという形で約束を取り付けておりますので、現在、私どもの方としては滞納という考え方をしておりませんので、この6件につきましては、滞納はございません。尚、今回の6件のうち先月、8月でございますが、明け渡しの終わった住宅がございます。この住宅のリフレッシュ工事、今回の9月予算にも計上させていただいておりますが、このリフレッシュ工事が約870千円から900千円程度掛かるような見積を今現在いただいております。このリフレッシュ工事が終わり次第入居の募集を行っていきたいと考えておりますが、募集に関しましては選考委員会を開催するという形で、これも予算が伴いますので、これからにつきましても年間2回程度行えたらという形で考えておりますので、今のところ10月から11月後半ぐらいに入居の募集をしたいと考えております。ちなみに今現在リフレッシュ工事を計画している住宅は皆の谷住宅でございます。尚、全体の滞納額につきましては、監査委員さんの意見書を参考にさせていただきたいと思っております。以上です。

議長 総務課長。

大森総務課長 小中一貫校を建設に係りまして防災面についてのご質問がいくつか

ございました。備蓄に関してでございますが、現在本町の備蓄につきましては、毛布、簡易トイレ、給水袋、バケツ等、庁舎、二分団屯所ですね、それから出羽島の集会所、旧の体育館です。それから中学校などへ配備しております。ただ、食料品については、現在のところ備蓄しておりません。それで年々計画的に増やしていきたいと考えております。それで今回、市宇ヶ丘の所に色々な施設が集中して出来てきますので、できた後につきましては、ある程度、重点的に町民体育館、それから、センター、小学校、中学校、保育所、そういったところに重点的には配備していく必要があるのではないかと考えております。それと防災訓練の件でございますが、一応、毎年津波避難訓練は行っております。今年につきましては8月1日に約1,000名が参加していただきまして、避難訓練を行っております。それと昨年は、新型のインフルエンザの関係で中止となりましたが、婦人会を中心にしまして県とか町の方も協力しまして行っております中学校での防災訓練ですが、今年も11月8日に行う予定で準備を進めております。また、ご協力をお願いしたいと思います。以上でございます。

議長 はい、榎谷議員。

榎谷議員 再問させていただきます。第1問目の耐震補強工事についてですが、防災訓練がある時にですね、今後新しくできた小学校、保育所に鍵がかかっていると思いますけども、そういったことをどういうふうに早急にやられるのかお聞きいたします。それから2点目に暑さ対策新設工事とありましたけど、私、今、夏でするので暑さのことだけ言いましたけれども、寒さも今回ギャップがありまして、寒波が訪れるというふうに聞いております。板野町で実施されている冷暖房については、経費が掛かるということでございましたけれども、寒さ対策も考えて、今できるような整備をしていくということですので、実施設備の温暖化に対しても大いに検討していただくようによろしくお願ひしたいと思います。それから、校舎、とどろみの時に行った時に廊下の横に空気が、風がパーッと入るように横にずっとちょうどお風呂の水がスーッと行くような感じであったと思うのです。お気づきの方もあったと思いますけど、あそこからかなりの空気が入り込んでいたのです。そういったことで暑い時には外の空気が入り込むような、そして、また、寒い時には寒さ対策ができるような形でできればと思いますので、実施の段階からやっていなければ、後からはかなり難しい問題になるかと思っておりますので、そういったことも踏まえて大いに企画を練りあげていただきたいと思ひます。公営住宅の空き

スペースの問題については、今のところ滞納はゼロということですね。住んでいない6件については、今後どのように進めていくのか、今8月ぐらいにするとしたのは、さっきの皆の谷のところだけと聞いておりますが、他には無いのか再度お聞きいたします。もう一つ目の任期満了についての町長の出馬ということで、先ほどですね、五力について町長から答弁がございましたけれども、首長としての大きな舵取り、残期間の責務であろう、責務に没頭するということは当たり前のことですので、任期数ヶ月を残し続投の意欲はないのかということをお聞きしたいと思います。それから、鬼ヶ岩屋温泉、モラスコ、こういったものですね、マンゴーのことについては、今後の進捗状況が全然説明されておられませんので、人件費、諸経費を含めて町として投資した金額、それ以上のものを企業として成り立っていくのか、企業として展望をお聞きしたいということで、今後のコスト負担も踏まえて、もう少し今後の全体の状況をお聞きしたいと思います。というのは、鬼ヶ岩屋をはじめとしてモラスコ、各牟岐町として事業をしたことに対して、あまりうまくいっていないのですよね。ここでまた自然相手の企画、もっと大変だろうと思います。そんなこともありますので、試練を踏まえての町長としての夢ということですが、やっぱり目標、今後の状況、こういったものを大いに踏まえていかなければ、町としての財源も費やすということですので、今後どういうふうな進捗状況があるのか、再度お聞きしたいと思いますので、再問に答弁をお願いしたいと思います。

議長 教育長。

丸岡教育長 榎谷議員の再問ということで、新しい校舎造りの暑さ、寒さ対策ということをおっしゃられた訳でございますが、そのことについては、当然のことながら校舎建築については、今後一生懸命考えていかなければならないと。今も一生懸命に考えておりますけれども、その考えを止めることなく一生懸命に考えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお聞きいたします。以上です。

議長 大神町長。

町長 来年4月の町長選に対する出馬の意思あるかないかということで、もう半年が来ているのに、意思があるのか無いのかというふうなこと。先ほど答弁を申し上げました

ように、色々考慮、熟慮いたしております。今ここで来年4月には出馬しますという宣言は差し控えさせていただきますが、遠からずというふうなことは、意思表示しなければならないと、もう一つ言わせてもらいますと、前向きに考えたいと思います。ご賢察いただきたいと思います。マンゴーについてですが、実は頑張る町村の県の助成金を今年いただきました。それで今後のことですが、一応、県の助成を中心にして試験栽培には成功の目途はついておりますので、来年も再来年もこの予算はいただけるという方向で規模を拡大しまして、然るべき方向に持っていければというような、今のところ助成金ですので、これは書類の関係もありますので、産業課の方で雇用対策の予算というふうな人的なそういうふうな補助もいただきまして、いわゆる近大との連携というふうなこと産学協同というふうなことで進めていきたいと思います。あと量も確保でき、或いは、また出羽島のマンゴーの里親制度みたいなことで、そういうふうな希望者がありましたら、拡大していったら。これは自然相手ですのでなかなか思ったようにいかないかも知れませんが、そういうふうな方向でおりますので、鬼ヶ岩屋がこうなった、マンゴーもそんなにならないかというご心配は、これはもちろん色々配慮しなければいけないと思いますけれども今のところ頑張る町村というふうな予算、今年まずもらって来年また県からの3年ぐらい頑張る町村の予算があるようなので、それをいただいて、それを膨らませていければというふうなことでございます。会社組織にするとか第3セクターにするとかというふうなことも勿論考えなければいけないと思いますが、取り合えず、今年はずっと言いますと農協にハウスを発注しまして11月末か12月に鉢植えマンゴーのこれを10箱いただいて、出羽島でというような方向で、勿論それに至る道は色々あるかと思いますが夢を膨らませていければというふうなことでございます。ご了解いただきたいと思います。また、ご支援、ご協力のほどお願いいたします。以上です。

議長 岩田住民福祉課長。

岩田住民福祉課長 公営住宅の生活実態の無い空き家6件のうち残り5件については、尚、明け渡しの要求は行っておりますが、その内、死亡に関して空き家になったところにつきましては、その身内が牟岐町におらないところが、やはり多くありまして、その身内もこちらの方に度々帰って来れないという、そういう事情もありますので、これまで長い経緯で明け渡しで一番長く掛かったのが3年ぐらい掛かったところもあります

ので、極力家賃も発生することなので、その辺のところは身内の方にも説明いたしておりますが、やはり家財道具等の整理というのがなかなかできないのが現状であろうということで、その辺については理解していただきたいと思います。以上です。